

マイスターに聞く 溶接技能向上の 勘所



高校時代の実習で溶接に触れた奥迫氏。そこに認定された。

奥迫義則氏（三菱重工エマシナリーテクノロジ）

の魅力に引かれ、指導うに溶接した。地上40裏はつり後の溶接を任接の部で県代表として
してくれた先生に「溶接の高所での溶接は朝されたが、自分が溶接 全国競技会にも出場し
接で仕事がしたい」と飯前。補修のため、地した箇所全部に欠陥がた。
相談したところ、三菱上60ににもなるクレー 出たしまったことも。 当時の課題は、板厚
重工業を紹介されて入社した。以来、大型クレーンの最上部で作業した 悔しい思いをしたが、 3・2ミと9ミの2種
属され、今日に至るまでやってみて、失敗 接を何時間も見て技術 競技では予想しないミ
で様々なクレーンの製作に携わり、第1回日本溶接協会マイスター

臆せず失敗してみる

溶接条件察するのは「音」

「何事も自分から進さから、うまい人の溶継ぎが懸案だったが、

コンテナクレーンや

スをしてしまう。競技材の薄板をノギスで測ると若干薄かったた

リードルクレーンなど

葉だ。自身もはじめは 着実に腕を磨き、22

め、本番直前に電流を5アンペア下げた。こ

の総組立工程で溶接を

うまく溶接できず、必 歳まで出られる会社

の判断が裏目に出て、

手掛け、UTやRTが

死に先輩の背中を追いかけた。「入社232位、1位と3年連続

の判断が裏目に出て、

必須の箇所を毎日のよ

年目の時、石油掘削装で好成績を残す。30歳

の判断が裏目に出て、

必須の箇所を毎日のよ

年目の時、石油掘削装で好成績を残す。30歳

の判断が裏目に出て、

必須の箇所を毎日のよ

年目の時、石油掘削装で好成績を残す。30歳

の判断が裏目に出て、

必須の箇所を毎日のよ

年目の時、石油掘削装で好成績を残す。30歳

の判断が裏目に出て、

感覚を信じていれば結果が変わったかもしれ「ない」と悔やみながら、良い経験として振り返る。
溶接で大切にしているのは「音」。溶接条件が合っているか、音を聞けばすぐに分かるからだ。「溶接電源の表示はあくまで目安で、最終的な判断は耳で行う」
現在は工程管理などを行うかたわら、ときおり現場を覗き、気がついたポイントをアドバイスする。競技会の出場選手に対してもそのスタンスは変わらない。1年目で競技に慣れ、2年目にステップアップし、3年目に優がらも強い。